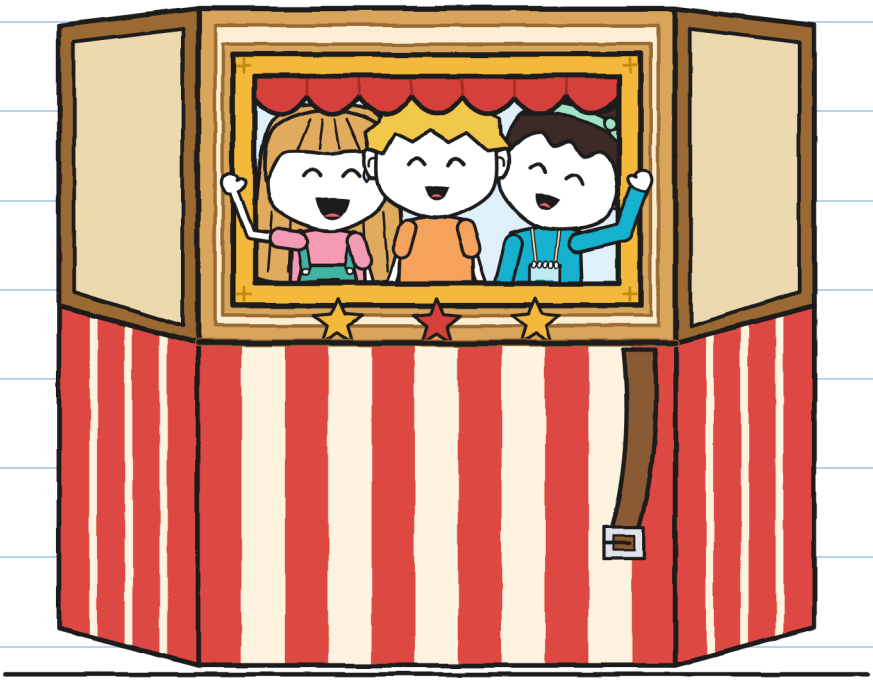
ありえない はいたつ ・ 6

ばしょは さんにんぶん

LinguAula



（グニの ノート）

サイズ XS
はじめての どくしょ ・ 5+

ありえない はいたつ・6

ばしょは さんにんぶん

ぶんとえ：LinguAula

サイズ XS・はじめての どくしょ・5+

日本語版：LinguAula

しょはん：2026

© 2026 LinguAula · info@linguaula.com

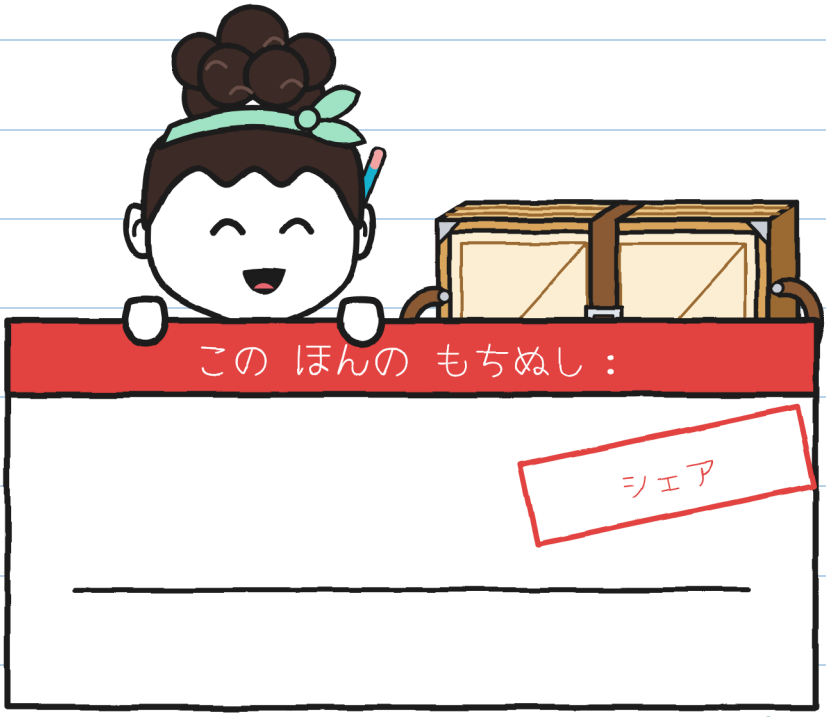
自由にコピーして、学校でも家でも使えます。

シリーズの 6さつめ。

LinguAula

linguaula.comで しょうごとに れんしゅう

3にんで はこぶ。とっては きめた。 —J.



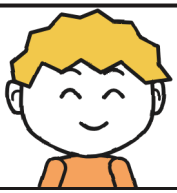
シェア。みんな はいる。 —J.

みつけたら、たたんで かえして ね。

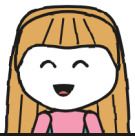
おはなしの なかだけ

ほんとうに、76ページを みてね。 —J.

だれが だれ？



グニは センチで はかる。



フリータは みちを
しっている。



ノアは ほで はかる。



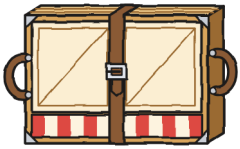
イレーネさんは「とまれ」と
いう。



トニョは じかんを はかる。



マラさんは にもつを かす。



おりたためる ミニぶたい。



R.は 1ぎょう のこした。

グニの
はいたつノート6

シェア。



ノート5は おわった。

これは オレンジいろ。

ぼくは ことばを ひとつだけ かいた。

ページの はんぶんは あけて おいた。

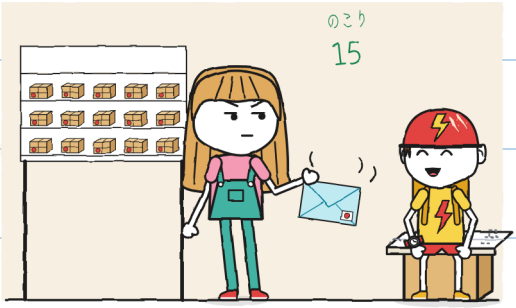
1ぷんも あいて いなかった。

あなたの 1ページめに かいた。 —J.

だい1しょう

どうして 3にん ひつようなの？

げつようびに がっこうから かえった。
フリータが ターコイズいろの
ふうとうを もって まっていた。
「あけない」と フリータが いった。
「28ぷん」と トニョが いった。

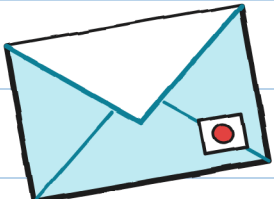


わたしの じゃ なかった。
とても おもかった。 —J.

マラさんが ふうとうを あけた。

イレーネです。げきの こうぼうです。
1ぎょう たりません：
「ミニぶたい：うけとりまち」
そちらに ありますか？
どようび 31にち：ラリー。
たたんだ まま とどけば、
3にんで はこべば、サインします。
ノアは あと ふたり さがして います。

フリータ、わたしだよ！
だれか つれて きて。 ーノア



「にもつに くわしい
だれか」。それは ぼくだ。

5じに イレーネさんと ノアが きた。

フリータと ノアが

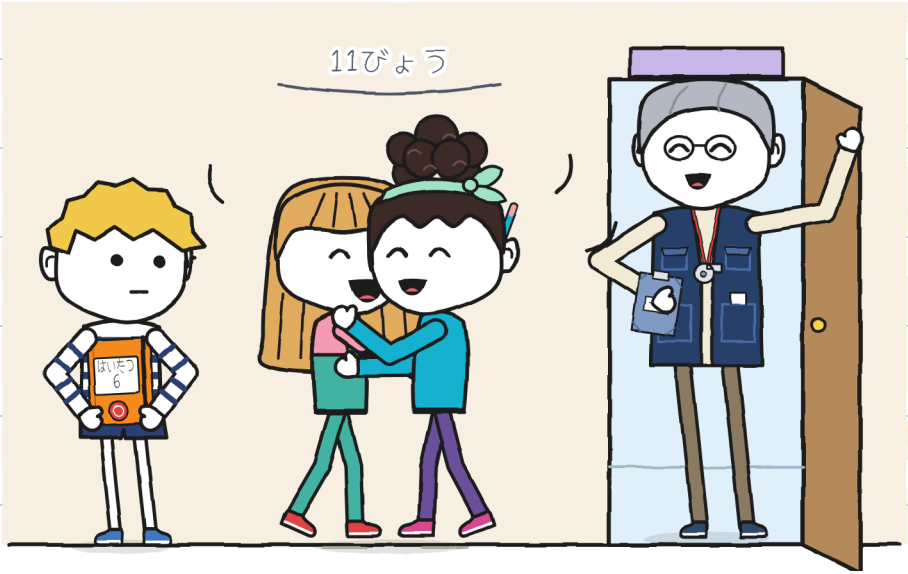
だきあった。11びょう。

「この こが グニ」

と フリータが いった。

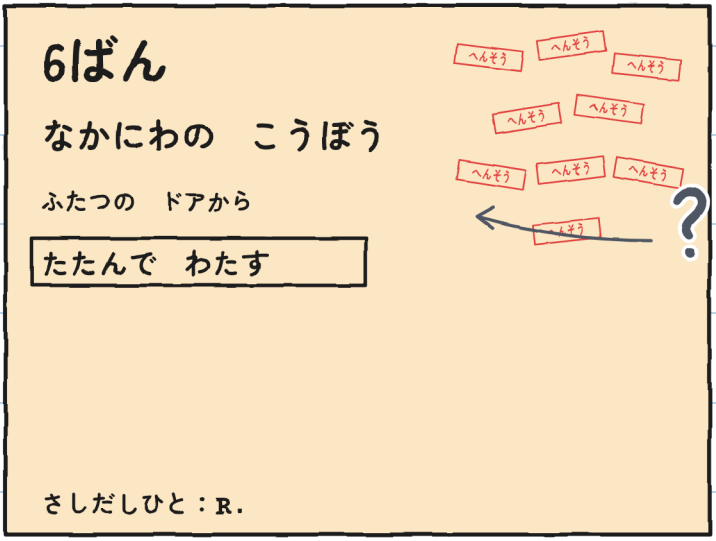
「こんにちは、グニ」

と ノアが いった。



マラさんは 6ばんを おろした。

ほかと おなじ はこ。



「はんこは 9こ」

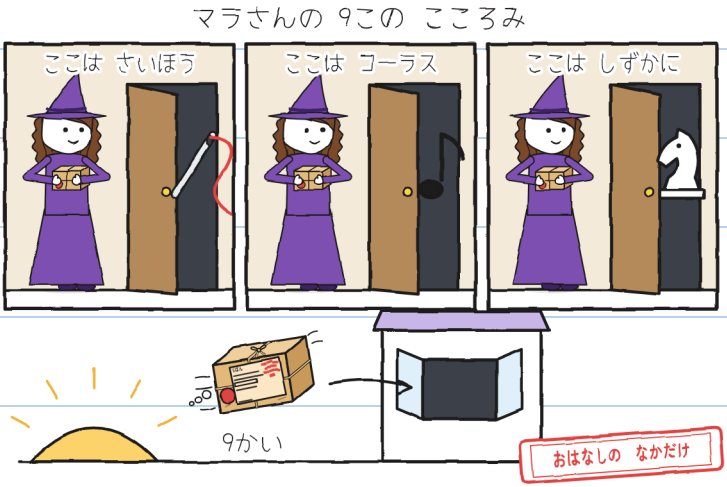
と フリータが いった。

「ふたつの ドアって？」

と ノアが いった。

だれも しらなかった。

「9かい もって いったわ」と
マラさんが いった。こうぼうあての
サインは、だれも して くれなかった。
「げきは なかにわで れんしゅうして
います」と イレーネさんが いった。
イレーネさんが はんこの
ついた かみを みせた。
もう サインする ひとが いる。



「マラさんが はこべば？」
と フリータが きいた。
「もう 9かい はこんだわ」
と マラさんが いった。
「こどもたちが
はこべないと いけません」
と イレーネさんが いった。

かしだし

6ばん：かしだしちゅう

イレーネさんと でる。

たたんで もどる。

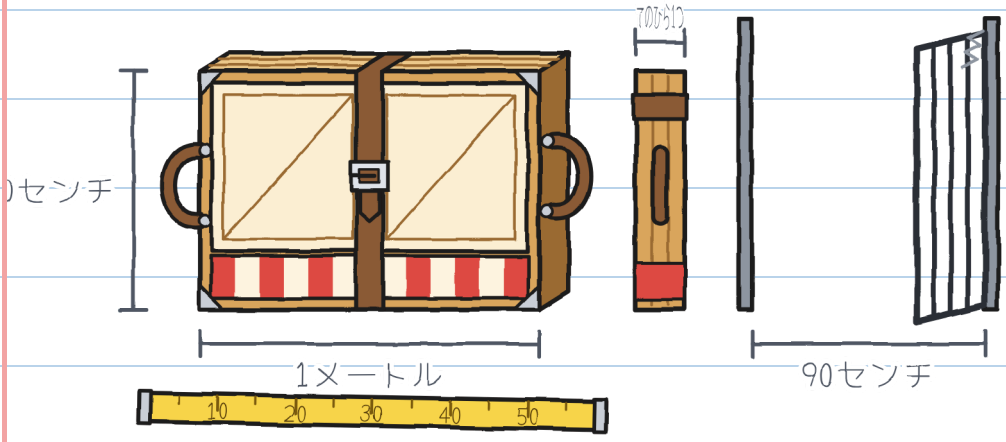
ここで ねる。



たなで ねる。 —J.

かようびに なかにわへ いった。てつの
もんが ある。ひとりで しまる。
ミニぶたいが でて、おおきく なった。
ぼくは まきじゃくを だした。

6ばんの おおきさ



よこに たてれば はいった。

パネルが ひとりでに ひらいた：

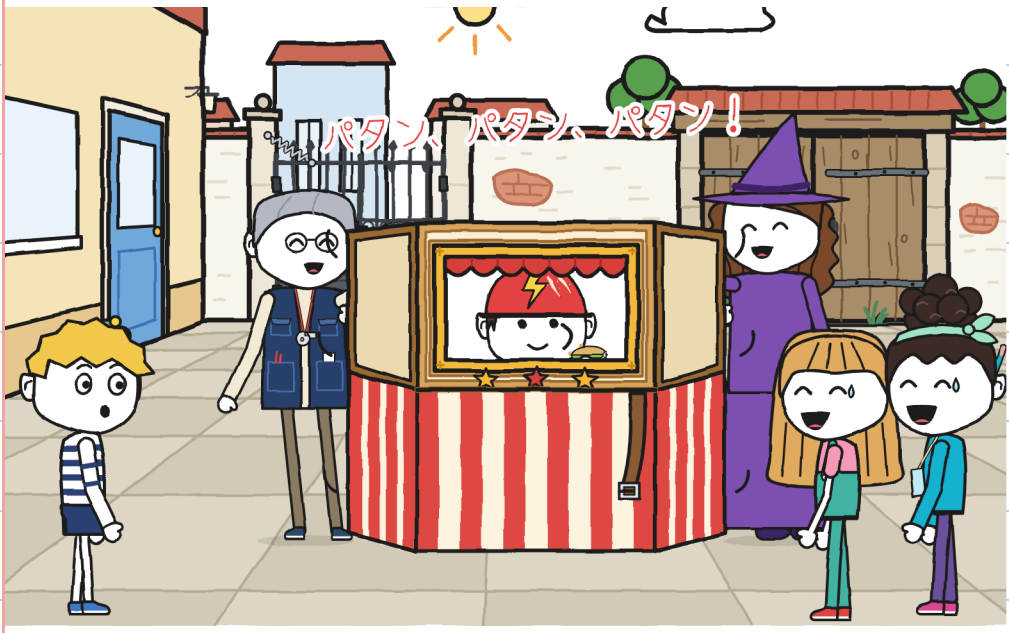
パタン、パタン、パタン。

まどから トニョが みえた。

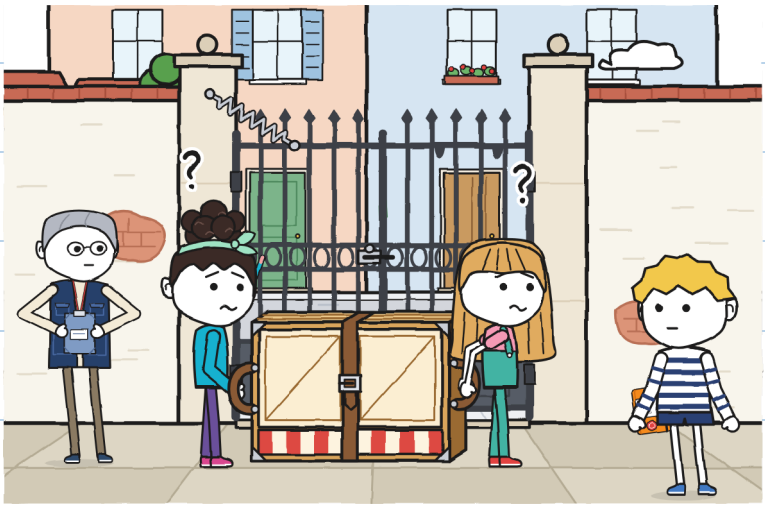
「ぜんぶ そろって いる」と

イレーネさんが いった。「てを

とってに。ちょうつがいには ダメ」



イレーネさんと マラさんが
ミニぶたいを たたんだ。
「わたしたちで ためして みる」と
フリータが いった。ノアは もう、もう
ひとつの とってに てを かけて いた。
ふたりは もちあげた。もんに
ついた。もんは しまって いた。
ぼくは てが あいて いた。



ぼくは せなかで もんを
おさえた。ふたりは とおった。

その ごご、ぼくは
メーターを つくった。

3にんメーター

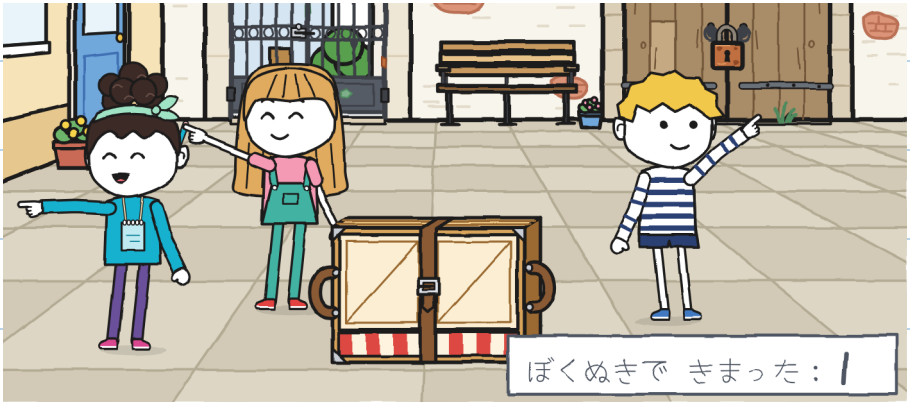
だれが なにを する

	もつ 	あんない 	みちあけ 
なかにわ、1かいめ	フリータと ノア	フリータと ノア	
なかにわ、2かいめ	フリータと ノア	フリータと ノア	グニ

からの マスが あると、とおれない。

メモ：「もんは、
いしでも おさえられる」

まだ ラベルの
いみが わからなかった。
「ふたつの とびらの こと」
と フリータが いった。
「あとで」と ノアが いった。
ぼくは ひとりで いった。
もどると、もう きまって いた。
ぼくは くちを とじた。



その ぼうせんは わたしのだった。 —J.

だい2しょう

だれが みちを しっている？

すいようびは、はじめての ルート。
「グニと ノアが もつ」と
フリータが いった。「わたしが
あんないして、みちを あける」
みどりで かいた ものは
きえない。2ほんめの ぼうせん。

3にんメーター

	もつ	あんない	みちあけ
なかにわ、1かいめ	フリータと ノア	フリータと ノア	
なかにわ、2かいめ	フリータと ノア	フリータと ノア	グニ
みせ → なかにわ	グニと ノア	フリータ	フリータ

ぼくぬきで きまった：11

「ちずを つくる？」

と ぼくは きいた。

「かたひれの さかなまで

まっすぐ」と フリータが いった。

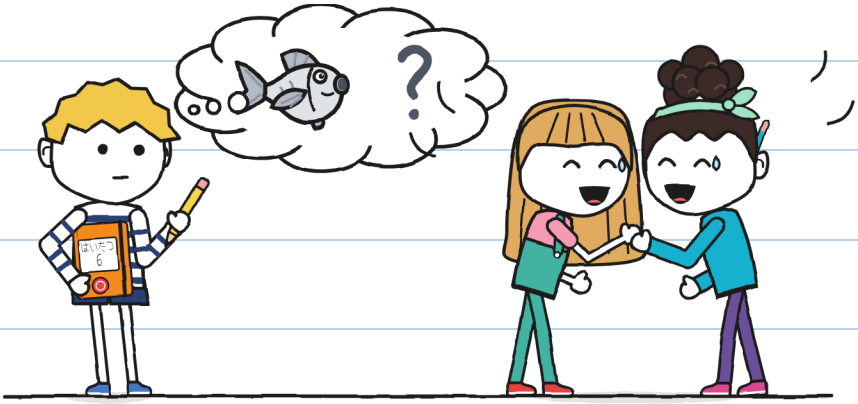
「どの さかな？」

「ながい はなしなの」

と ノアが いった。

その はなしは きけなかった。

3ぼんめの ぼうせん。



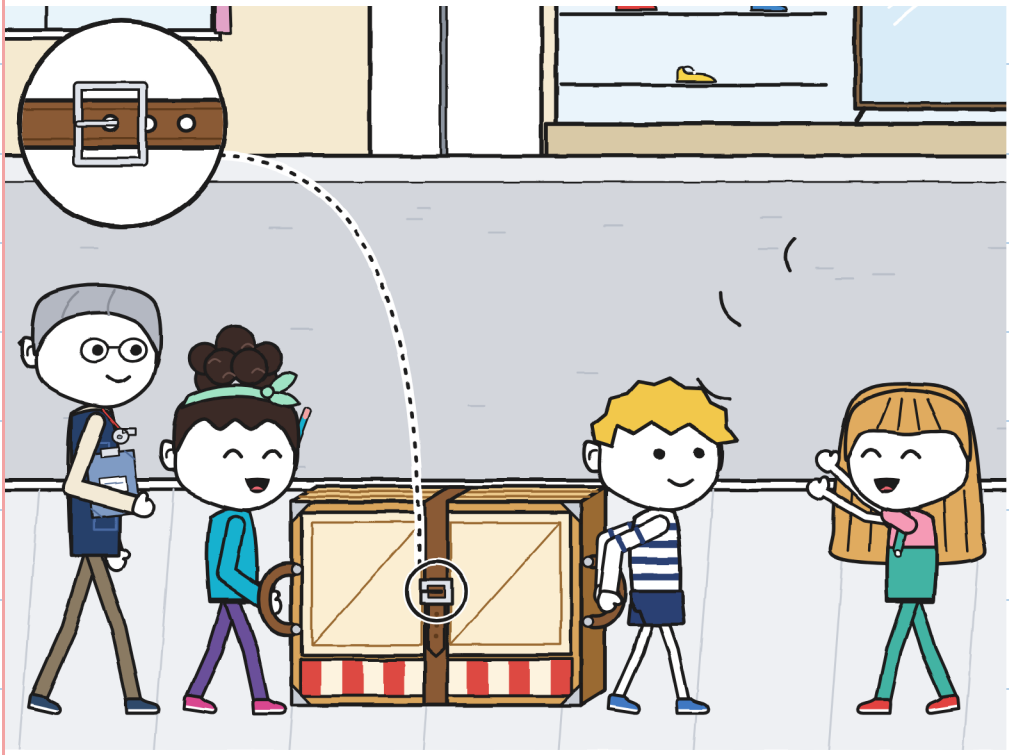
ノアは ベルトを 1つめの

あなに とめた。

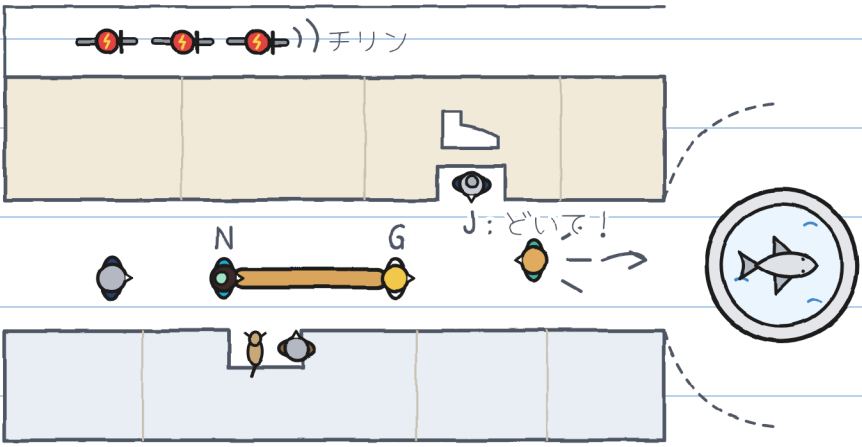
ぼくは さきに あるいた。

イレーネさんは いちばん うしろ。

だんさの たびに「とまれ」と いった。



フリータは みちあけが
とても うまかった。
「どいて どいて、
ぶたいが とおるよ！」
チリンと ベルが なった。
「これを もって
はしっては いけません」
と イレーネさんが いった。



ふんすいに ついた。

フリータは いなくなった。

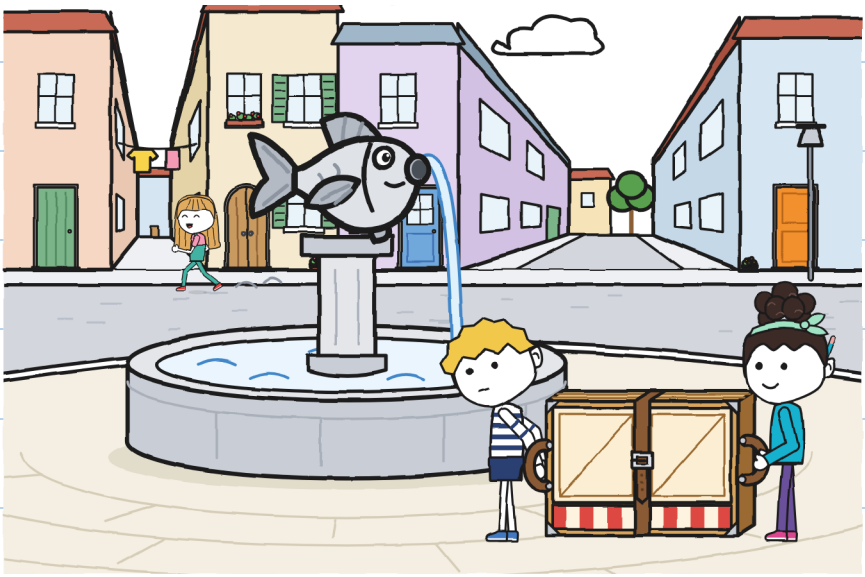
「かたひれの さかなまで、

そして まがる！」

そして もう いなかった。

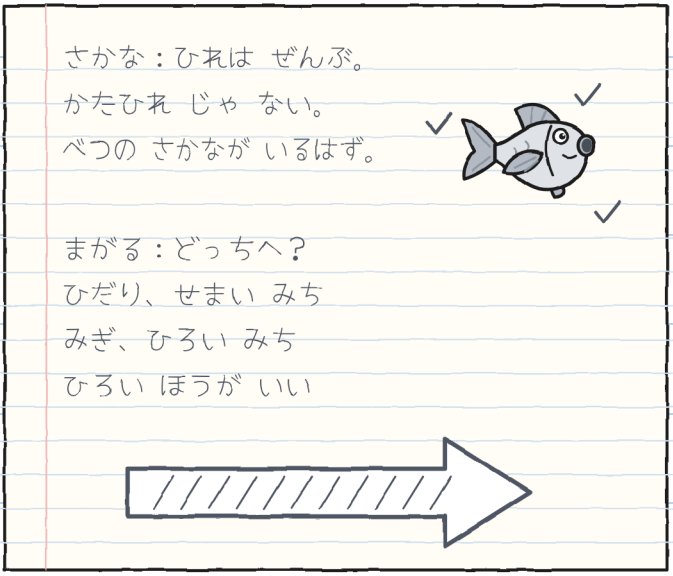
いしの さかな。

ひれは ぜんぶ あった。



はやく かんがえた。

ぼくの とくいじゃ ない。



「もう まがる？」と ぼくは きいた。

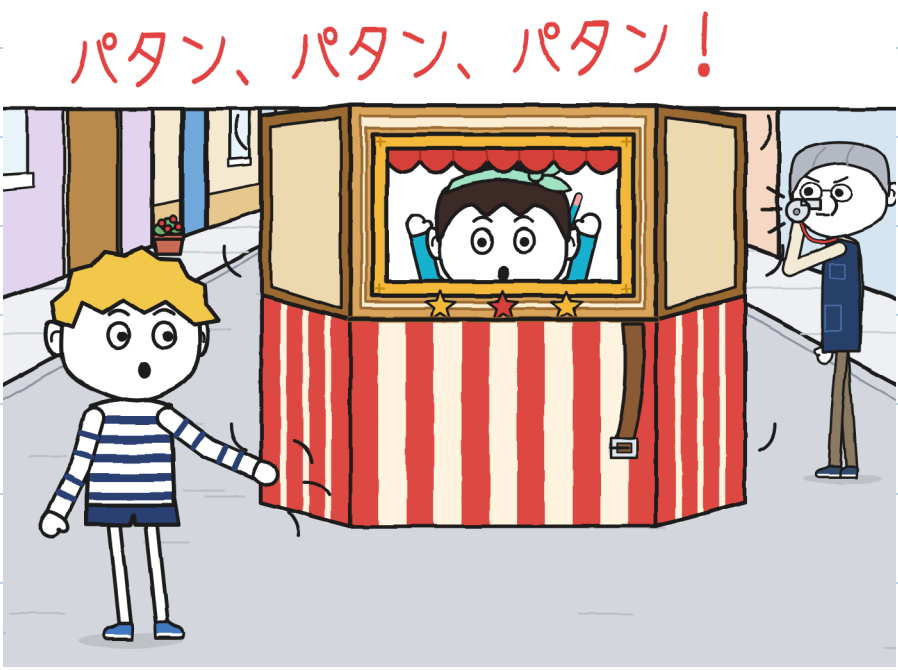
「かたひれの さかなで！」

と ノアが いった。

べつの さかなは みえなかった。

ぼくは みぎへ まがった。

だれも「まがるよ」と
いわなかった。だれも ベルトを
おさえなかった。1つめの あなの
バックルは、あまり もたない。
パタン。パタン。パタン。
パネルが ひらいた。なかに ノア。



イレーネさんは　ノアの

てを　みた。つぎに　ぼくの。

「だれが　あんないして　いたの？」

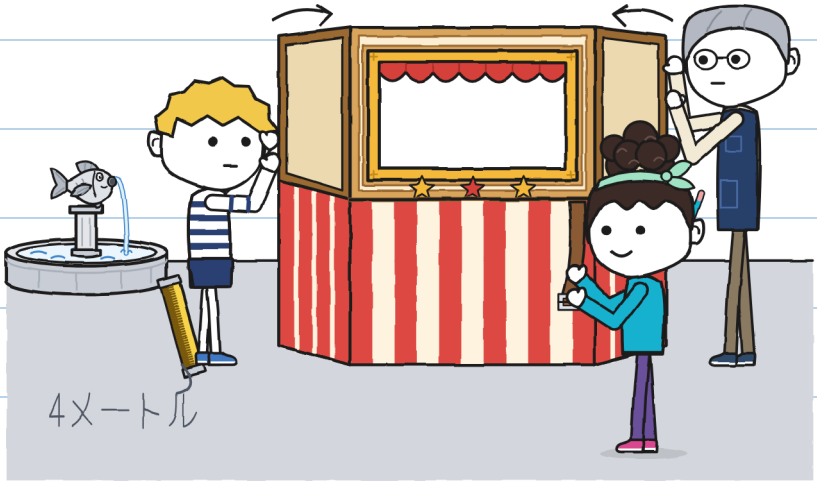
と　イレーネさんが　きいた。

だれも　こたえない。あんないは

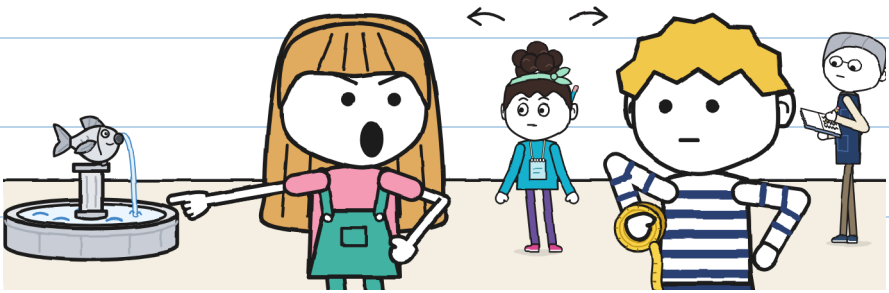
フリータ。2ブロック　さきに　いた。

はかった：あしから

ふんすいまで　4メートル。

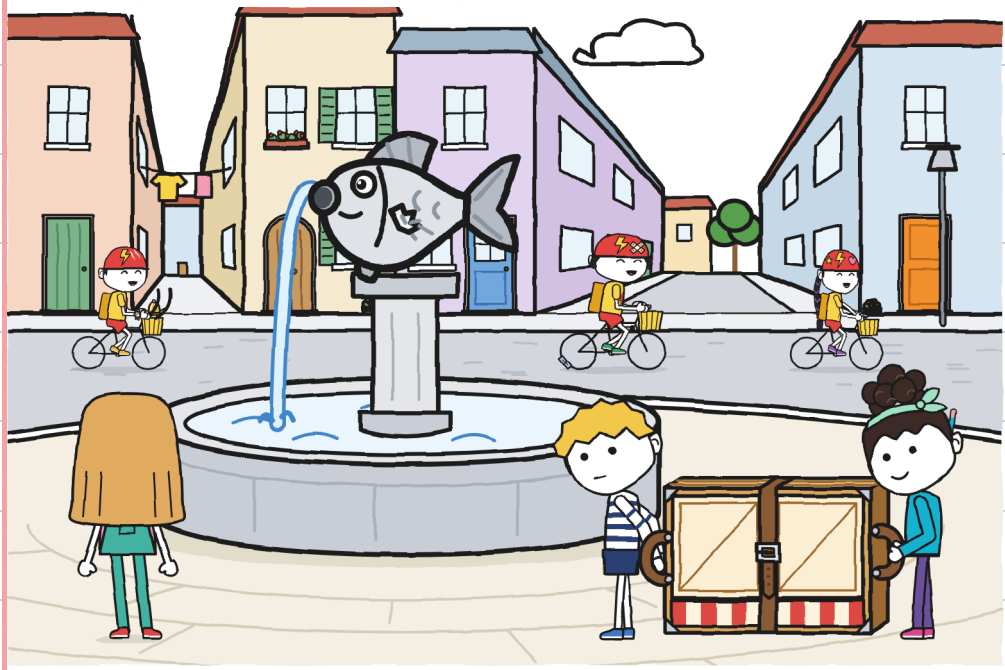


「かたひれの さかなの
ところ だったのに！」
「いつも の とおり」
「『いつも』は、ぼくが
いなかった ころの こと」
フリータは イレーネさんの
ほうを むいた。
まいごじゃ ない。はかった。
4ほんめの ぼうせん。



みんなの まえで いった。 —J.

さかなの うらがわを みせて
もらった。ひれが ひとつ ない。
ぎょうの やりなおし。できたけど、
だれも しゃべって いなかった。
イナズマが じてんしゃで
とおった。チリン。



ついた ころには もう くらかった。

マラさんは ミニぶたいを しまった。

きょうの ことを メーターに

メモした。なにかが たりない。

なにか わからない。

3にんメーター

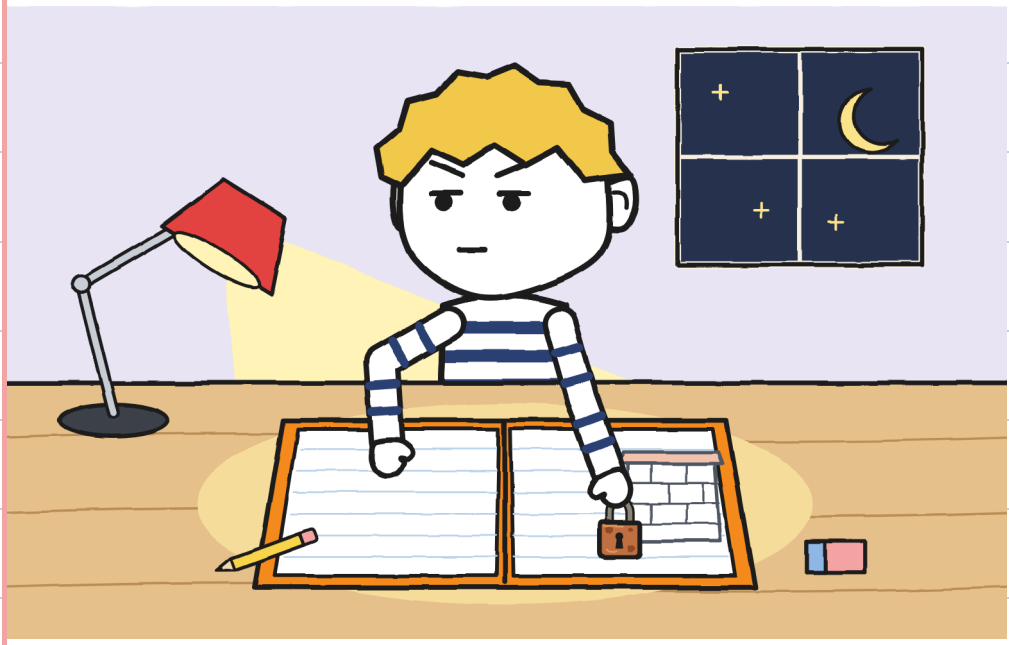
	もつ 	あんない 	みちあけ 	
みせ → なかにわ	グニと ノア	フリータ	フリータ	
みせ → ふんすい	グニと ノア	フリータ	フリータ	ひらいた：3かい

?

わたしの なまえが 2かい でて くる。

でも わたしは いなかった。 —J.

うちで、へいの うらで
みつけた ものを かいた。
かんがえた：「あした また
しっぱいする。そしたら これを だす」

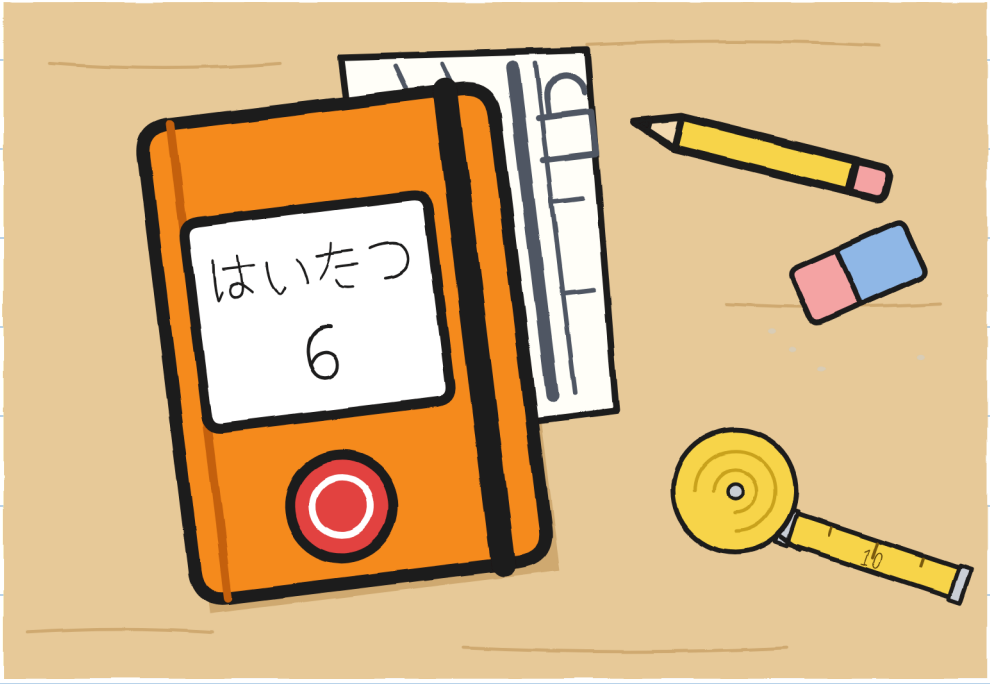


いやだった。 —J.

だい3しょう

グニの ちずは やくに たつ？

その よる、ちずを ぜんぶ つくった。
とても いい ちずが
できた。4つに おった。



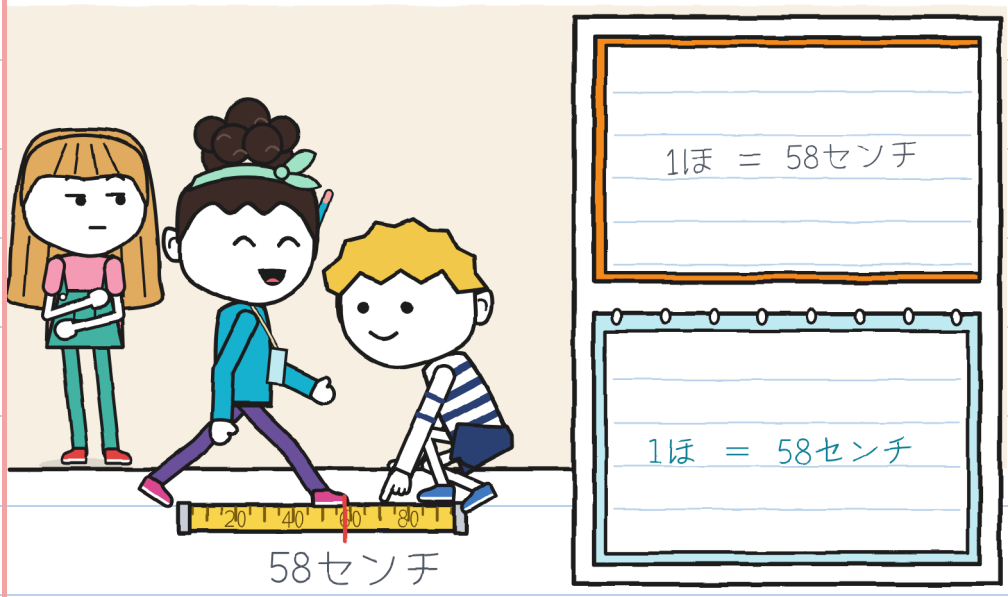
もくようびに　ノアが　ほを　かぞえた。

「わたしは　ほで　はかるの」

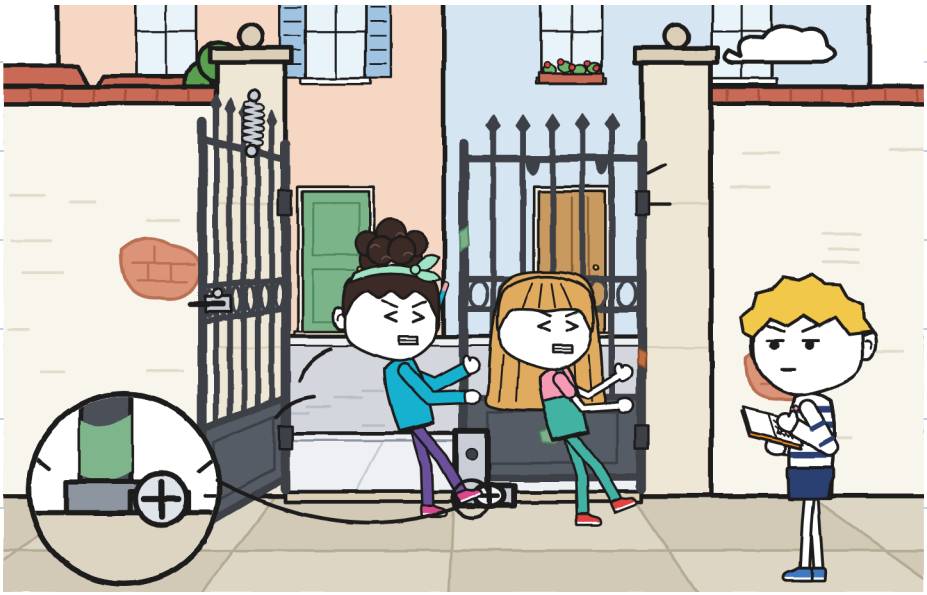
と　ノアが　いった。

ノアの　1ほを　はかった：

58センチ。ノアは　かぞえる。



なかにわへ いった。フリータと ノアは
2まいの とびらを あけたかった。
2まいめは あかなかった。
「じゃあ ラベルが まちがい」
と フリータが いった。
「ぜったい」と ノアが いった。
ぼくは えんぴつを だした。



かかなかった。

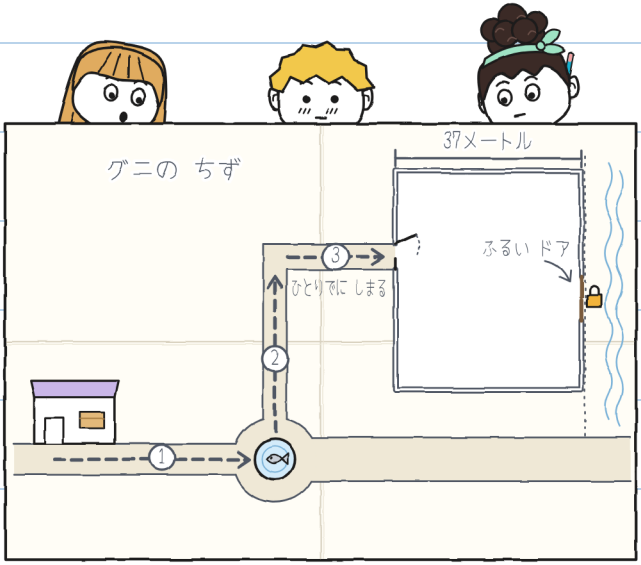
ぼうせんの れつを みた。1ぽん
たりない。ぼくの。かようび、
ぼくは だまる ことに きめた。

ぼくぬきで きまった：||||

ふたりぬきで きまった：|



「ラベルは まちがって ない」
と ぼくは いった。「なかにわには
もう ひとつ ドアが ある。
かようびに みつけた」
「かようび？」と フリータが いった。
「あとで ただしかったと
いう ために、とって おいた」



「わかった」と　ノアが　いった。
フリータは「わかった」と
いわなかった。あしを　ゆらして　いた。
「きのうは　あれが
すごく　ひつようだった」
と　フリータが　いった。
「うん」



まだ　ほんとうじゃ　なかった。　—J.

ドアを みに いった。

ノアは 64ほ かぞえた。

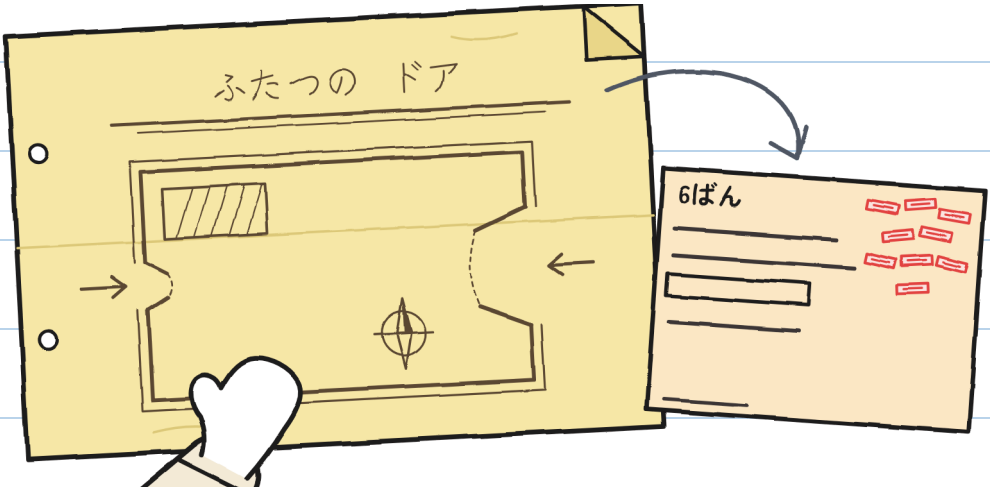
ぼくは 37メートル はかった。

きの ドア。ロックは、ロックより

さびの ほうが おおい。



イレーネさんが きいろい
かみを みつけた。
「むかしは ふたつの
いりぐちから はいった」
「ふるい じゅうしょだったんだ」
と ぼくは いった。



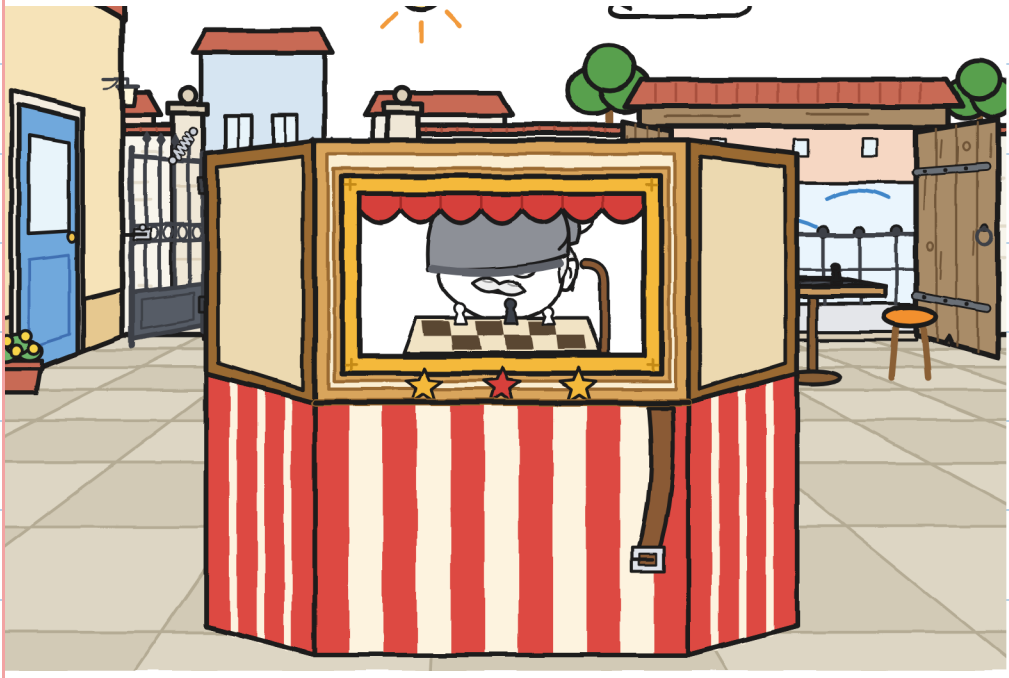
マラさんは 9かい みた。 —J.

かぎは ふうとうに はいって いた。

イレーネさんが ロックを あけた。

まどから アントニオさんが みえた。

すこし いびきを かいて いた。



「どようびは 2つ あける。
じてんしゃは ふるい ドアから」
と イレーネさんが いった。
「グニは どう おもう？」
と フリータが きいた。
1しゅうかんで はじめて だった。



ぼくは もんが いいと いった。

れんしゅう つきで。ノアも おなじ。

フリータは「わかった」と いった。

メーターに マスを 1つ ふやした。

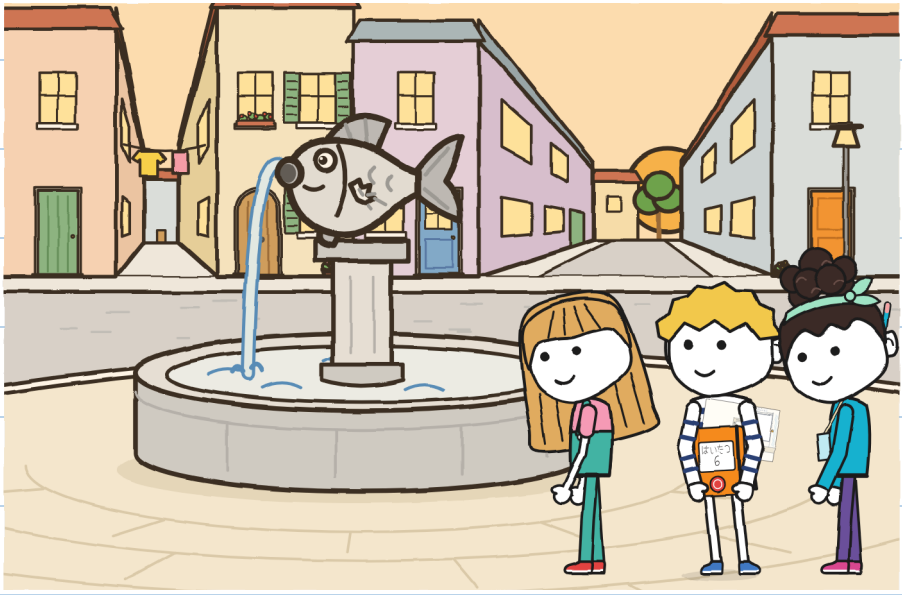
4つの マスの メーター

	もつ	あんない	みちあけ	しらせ
なかにわ、2かいめ	フリータと ノア	フリータと ノア	グニ	グニ、なし
みせ → ふんすい	グニと ノア	フリータ	フリータ	だれも

しらせ：しって いる こと

4つめの マスは むずかしい。 —J.

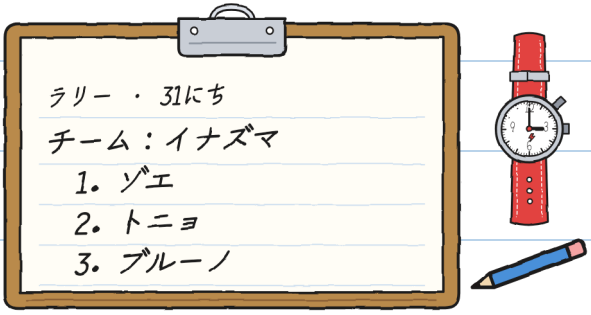
ふんすいを とおって もどった。
ぼくは かたひれの さかなの
まえで たちどまった。
「その はなし、おしえて
くれる？」と ぼくは きいた。
「どようびに」と ノアが いった。
「いや」じゃ なかった。



だい4しょう

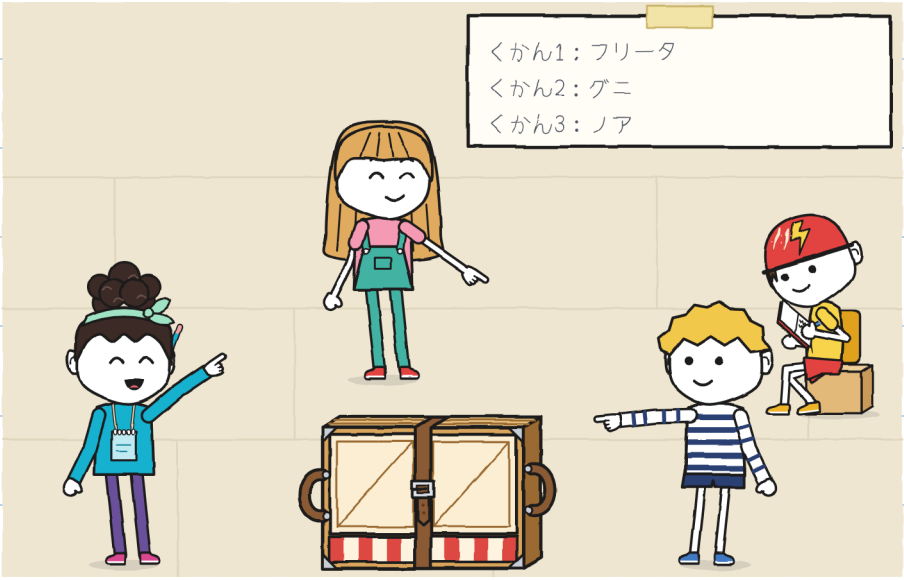
だれでも あんないできる？

トニョは とけいと イナズマの
かみを もって きた。

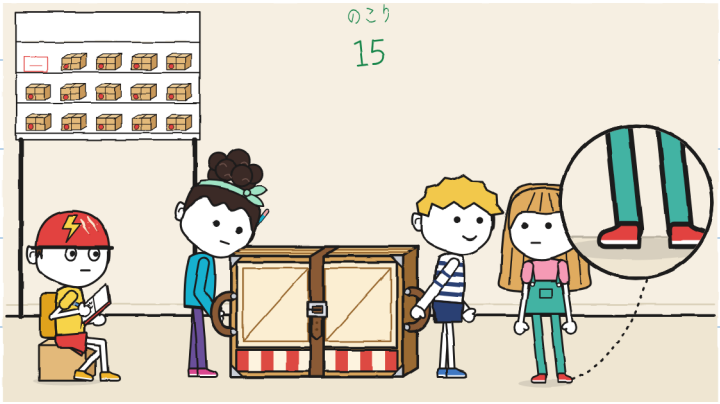


「かいたのは ゾエ」と
トニョが いった。ブルーノは
「てんてん つき」と いった。
「きょうは じかんを はかる」
と トニョが いった。

ノアは「じゅんばん」と いった。
ぼくは「もたない ひとが
あんない」と いった。フリータは
「もう はじめよう」と いった。
「さいしょに あんないする のは？」
3ひとで ゆびを さした。
みんな ほかの にんを さした。

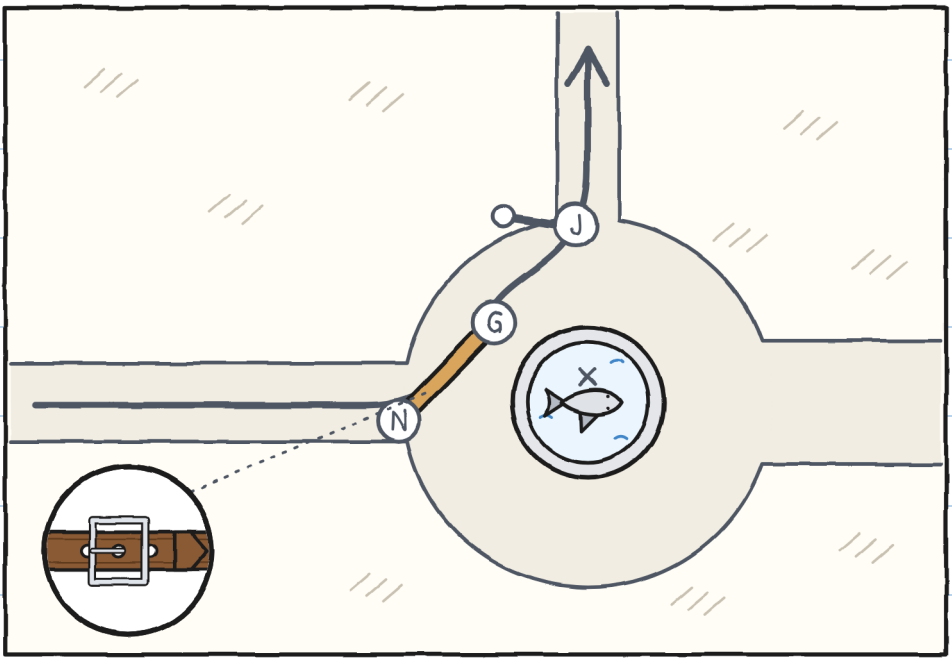


「ノアしか わからない しじを
だした」と フリータが いった。
「それから、『グニが まいごに
なった』って いった」
「わかった」と ぼくは いった。
「さかなの どっちの ひれが ない？」
「ひだり」と フリータが いった。

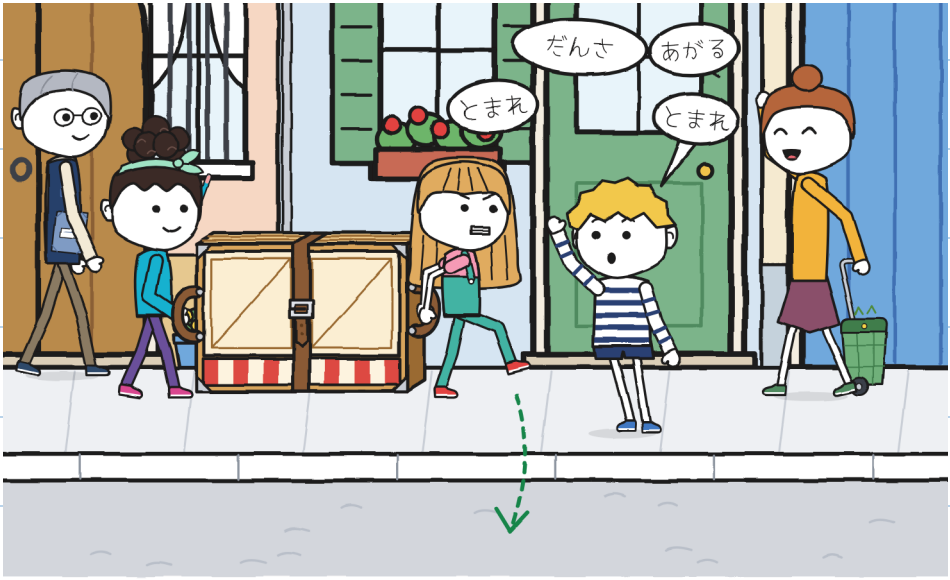


わたしの あしを みて：うごいて ない。 —J.

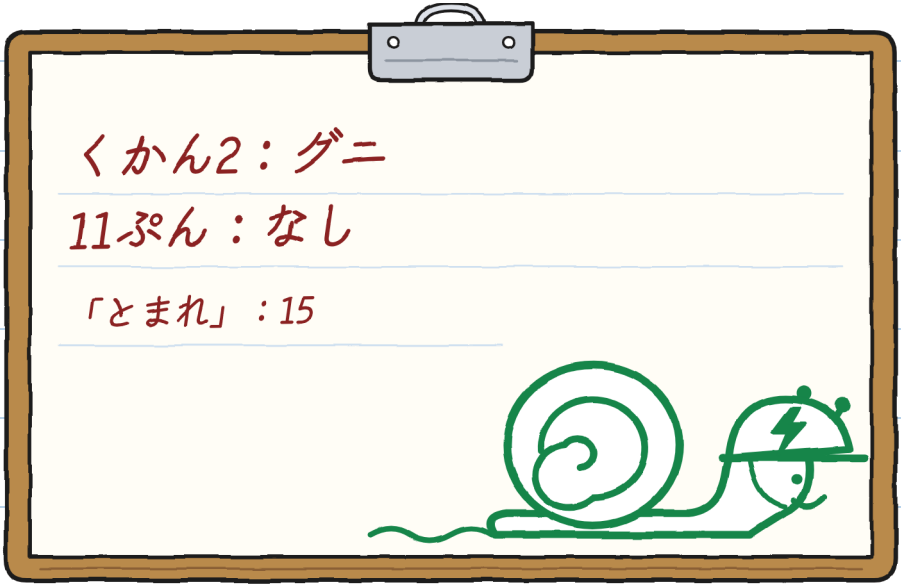
くかん1。ノアは ベルトを
2つめの あなに とめた。
「5ほ… ひだりに まがるよ！」
「ベルト！」と ノアが いった。
かたひれの さかなの まわりを
まわった。パタンは なし。



くかん2。フリータと ノアが
もつ。ぼくが あんない。
ぼくの あんないは こう：
「3ほ、とまれ、だんさ、あがる」
フリータは だまって まえを
あるいた。フリータの あしは
ちかみちを いきたがった。



「11ぷん」と トニョが いった。
ぼくが あんないした のは
はじめて。やりなおしは なし。
「『とまれ』を 14かい いったよ」
と フリータが いった。



どれにも ことばを かえさなかった。 —J.

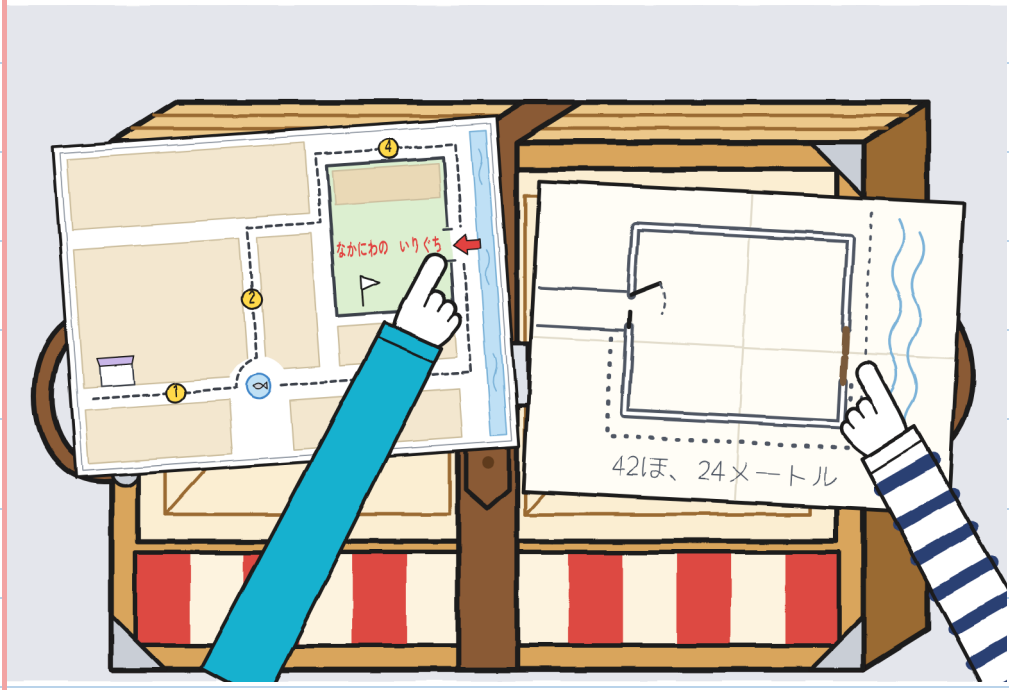
くかん3。フリータと ぼくが
もった。ノアが あんないした。

ノアは うんがの
ろじで たちどまった。
「ちずは ふるい ドアへ いけって」



ミニぶたいを　おろした。まず
おろす。はなしあうのは　それから。
「ふるい　ちずだよ」
と　ぼくは　いった。

もんまで：42ほ、24メートル。



「イレーネさんに いう？」

と フリータが きいた。

「ほかの みんなにも」

と ノアが いった。

イレーネさんは あかい

ペンで ちずを なおした。



くかん3を もう いちど。

ノアが あんないして、

みちを あけて、しらせた。

「とまれ！ とびらを

おさえてる！ とおって！」

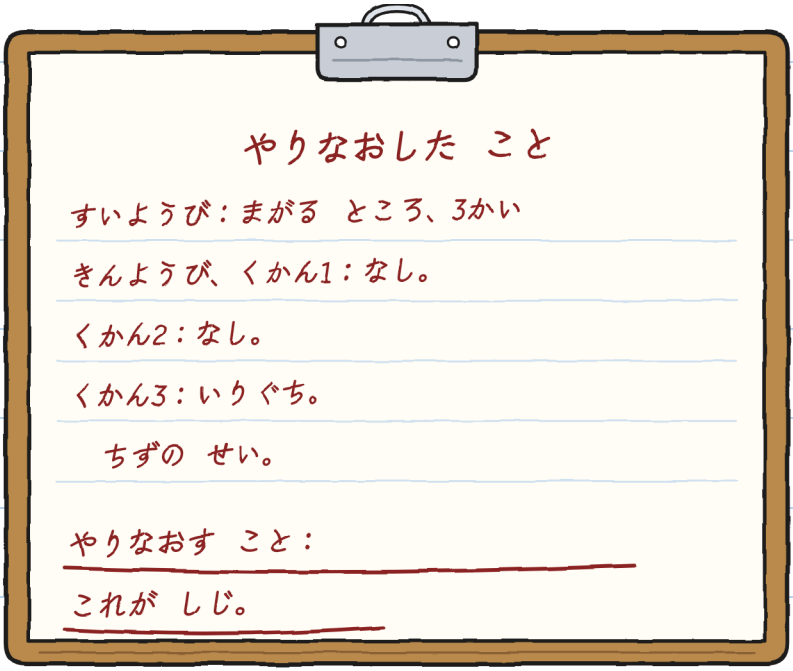
とおれた。

	もつ 	あんない 	みちあけ 	しらせ 
かど → なかにわ	グニと フリータ	ノア	ノア	ノア：「ちずが まちがって いる」

ノアが 4つめの マスを うめた。

ノアが もんを おさえた。 ーJ.

トニョが かみを みせて くれた。



「それは いけん」

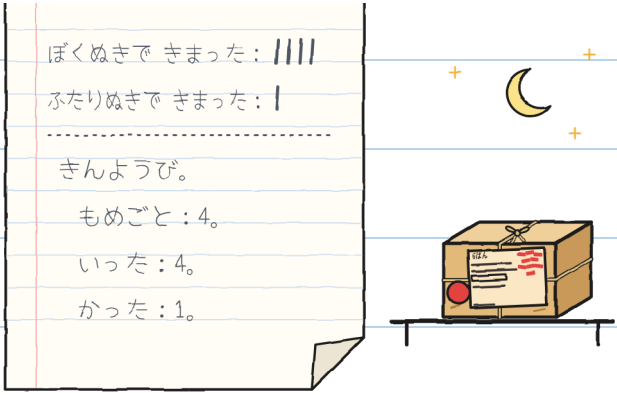
と フリータが いった。

「データだよ」と トニョが いった。

トニョは ヘルメットを

かぶって いった。チリン。

よる、マラさんは ミニぶたいを
しまった。ノアは バックルを みた。
「あしたは 3つめの あなに」
と ノアが いった。
きょうは ぼうせんを
ひかなかった。もめごとは 4つ。
ぼくが かったのは 1つ。



ゆかは あげる。 —J.

だい5しょう

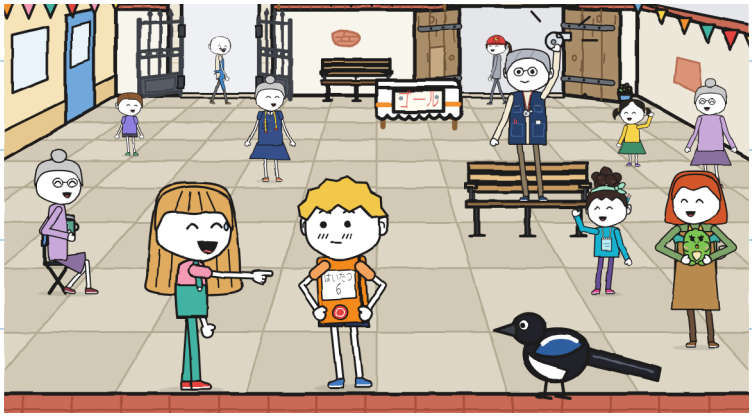
いちばんに つかなくて いいの？

どようびに オレンジの

Tシャツを きた。

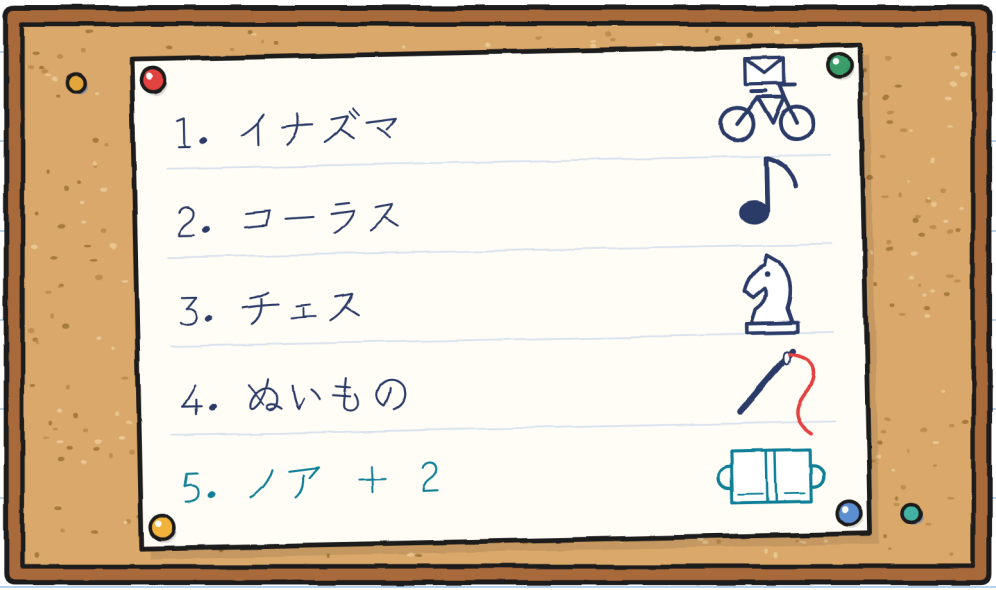
11じに、なかにわの ドアは ふたつとも あいて いた。イレーネさんが いった。

「にもつを もったら はしらない」



5チーム いた。イナズマは
ふうとう。コーラスは がくふだい。

ノアは ぼくたちの チームを かいた：



「ノア＋2だね」と いった。
「わたしが 2」と フリータが いった。

ノアは いそいで ベルトを
とめた。カチッ！
「ゆかに！」と ぼくは いった。
ノアは もういちど ベルトを
とめた。3つめの あなで。
アントニオさんが ベレーぼうを
さげた：スタート。



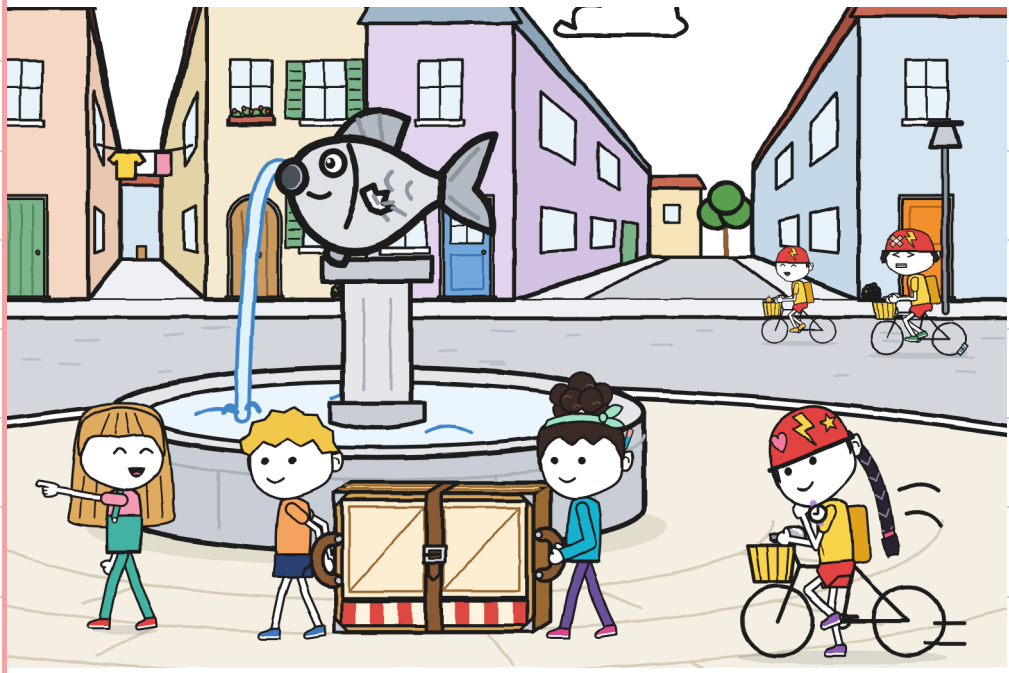
くかん1。フリータが あんない。

「ひだりに まがるよ」

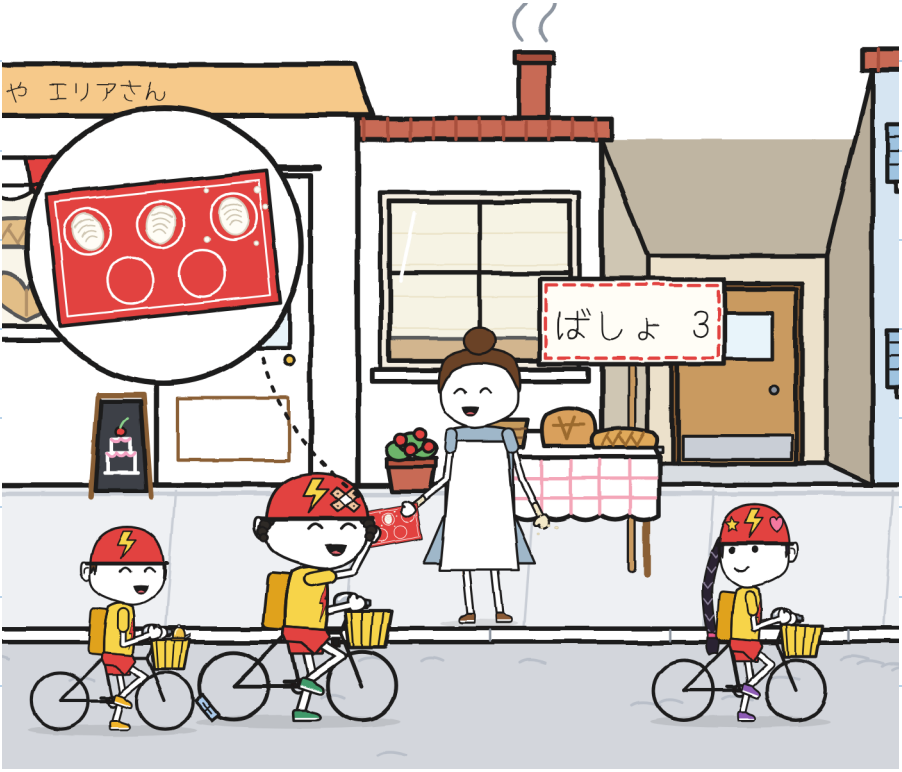
ゾエが じてんしゃで きた。とまった。

「さきに どうぞ」

ぼくたちは 20びょう さきに いった。



どの ばしょでも カードに
スタンプを おした。エリアさんは
こなだらけの おやゆびで おした。
イナズマは 3かい ぼくたちを
ぬいた。トニョが ベルを ならした。



コーラスが ぼくたちを ぬいた。

「いちばんに つかなくて いいの？」

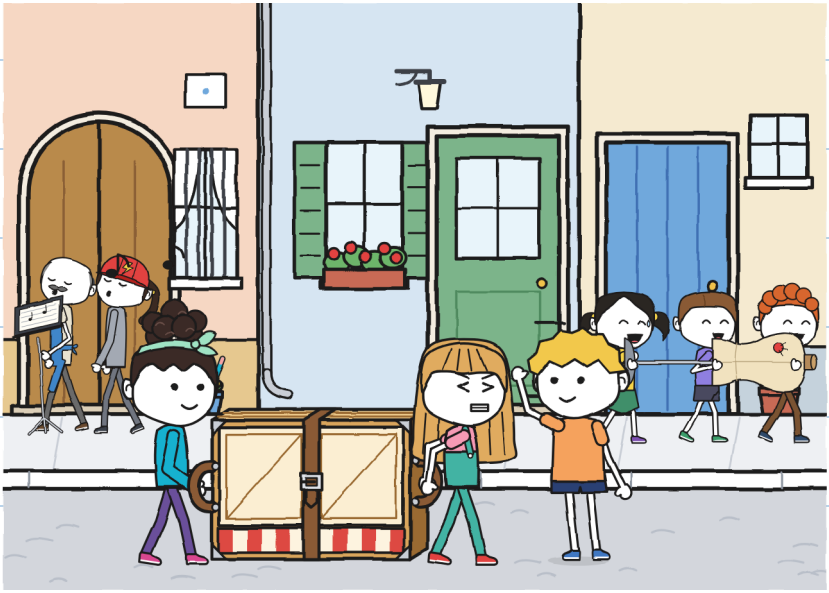
「ラベルには『たたむ』と

かいてある」と ノアが いった。

フリータは はしらなかった。

いや、あしが ひとりでに

でた。ひきもどした。



くかん3。ノアが

とびらまで あんない。

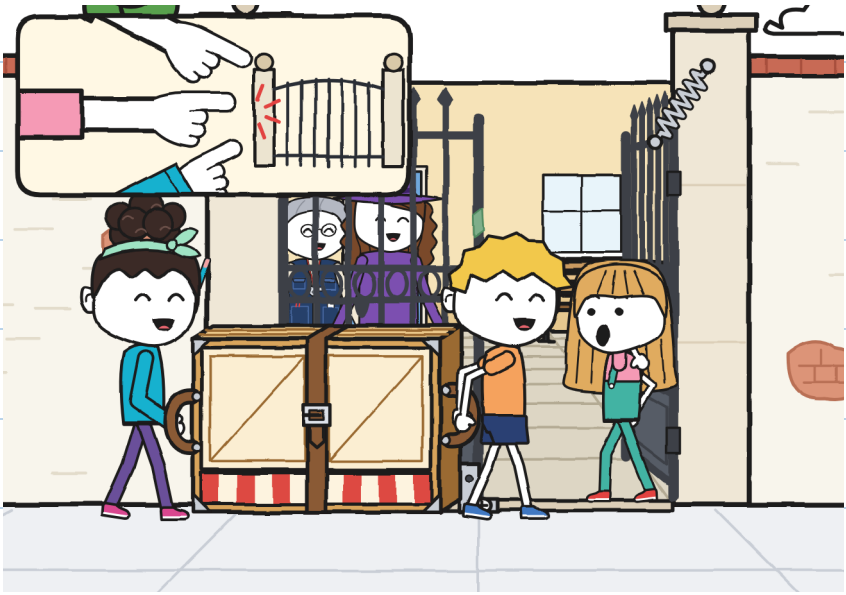
「だれが あける？」

と フリータが きいた。

フリータが とびらを おさえた。

「とまれ！ とおって！」

とおれた。たたんだ まま。ぜんぶ。

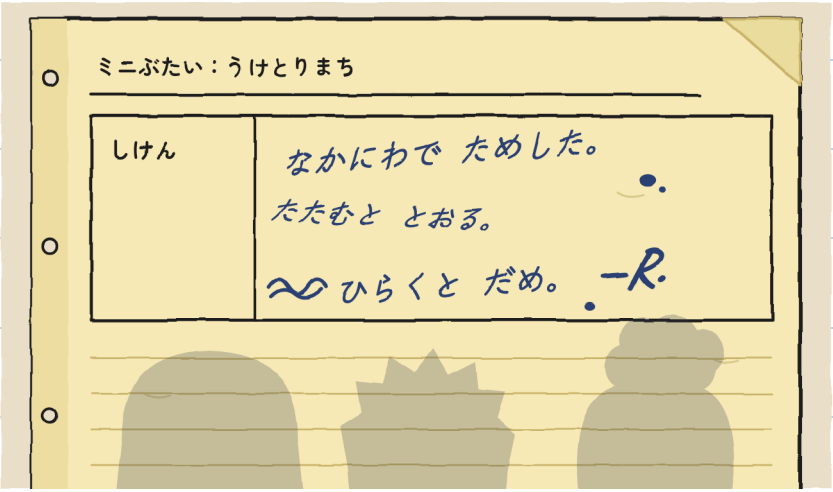


「41ぷん」と イレーネさんは いった。
イナズマは 14ふん かかった。
イレーネさんは たたんだ
ミニぶたいを みた。
「これで いい」
と いって、サインした。



「とどけた」の じが でた。
だれも かいて ない。

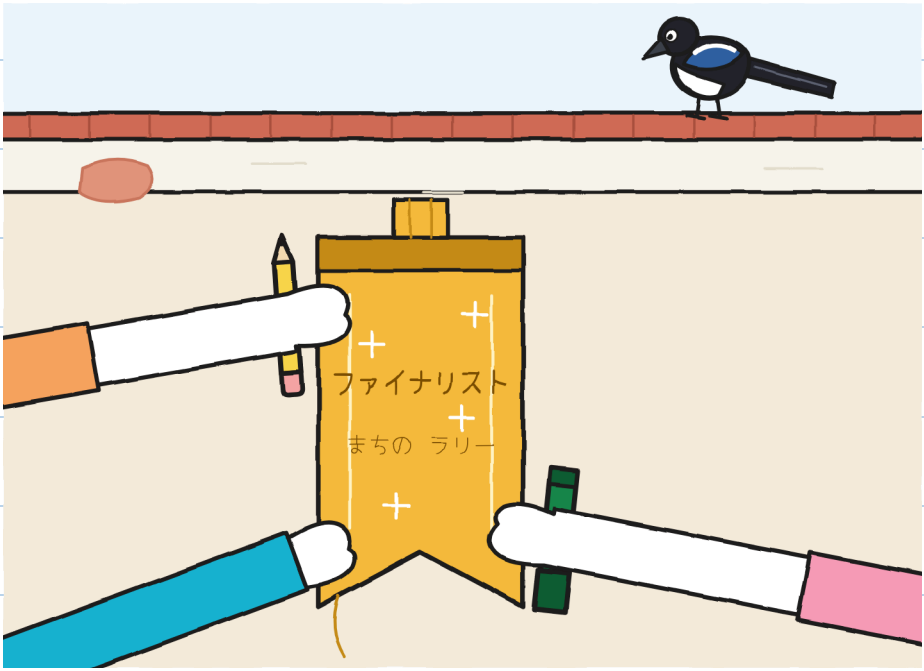
イレーネさんは びひんリストを
ひらいた。ミニぶたいには
ふるい 1ぎょうが あった。



「わたしより まえの こと」
と イレーネさんが いった。
R.は その なかにわで
ミニぶたいを ためした。

R.は ドアを はかる。メモする。 -J.

イナズマが かった。やりなおしは
なし。ごほうびは エリアさんの パン。



「ファイナリストは さいごの
ひと」と フリータが いった。
「さいごまで きた ひと」
と ノアが いった。

「せっかく あるから はじめて
つかおう」と イレーネさんが いった。
2ふんで げきを つくる。
「あまり しゃべらない ひとは？」
ぼくは てを あげた。
パンくずが かべの うえに とまった。



げきを した。ノアは ぜんぶの

ドア。ぼくは にもつ。

「かえす」を 9かい いった。

3ひとも はいれた。ぎゅうぎゅうで。



ひとりが ちぢむ。 —J.

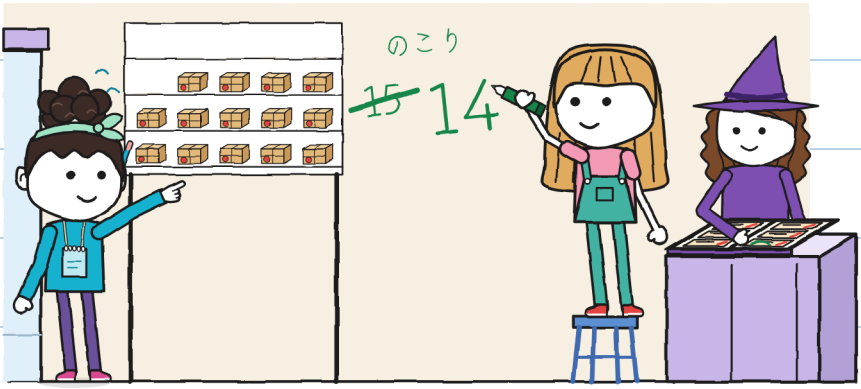
だい6しょう

ラリーが おわって、なにが のこる？

みせに もどった。

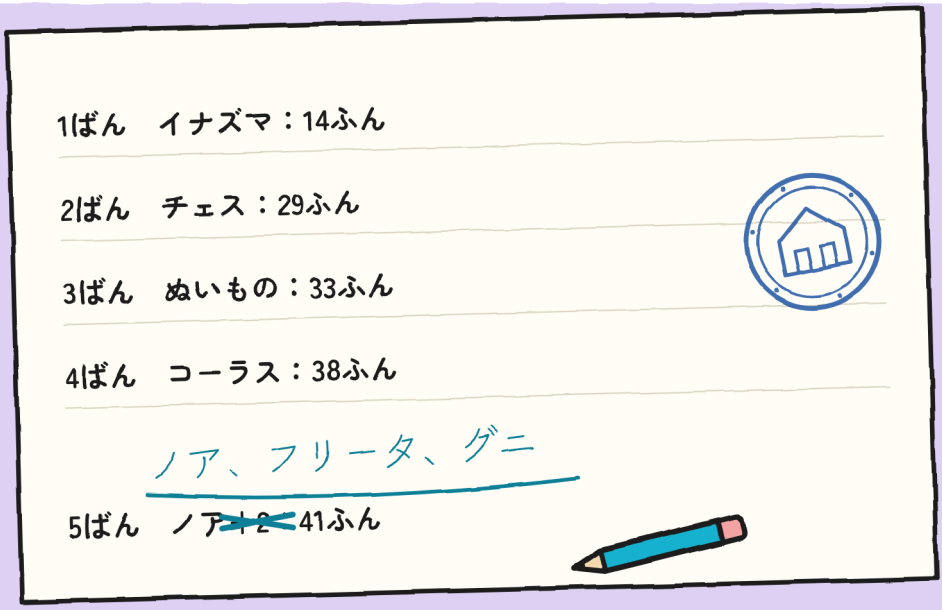
「いい？」と フリータが きいた。

15を けして、14と かいた。



ノアは ちいさな こえで かぞえた：14。 —J.

トニョが じゅんいを もって
きた。ぼくは かきとめた。



2かい みた。「ブルーノ」
は そのまま だった。
ノアが ターコイズの えんぴつで
ぼくたちの チームを なおした。

R.の ふだに ヒントを あしした。

「ミニぶたいを ためした」

と トニョが いった。

「おれの ベルは ちがう」

R.の ことで わかって いる こと

?

R.

ヒント 1-11

12. ミニぶたいを ためした。
おくる まえに。
びひんリストに ある。

これから：せつめい

わたしにも。 -V.

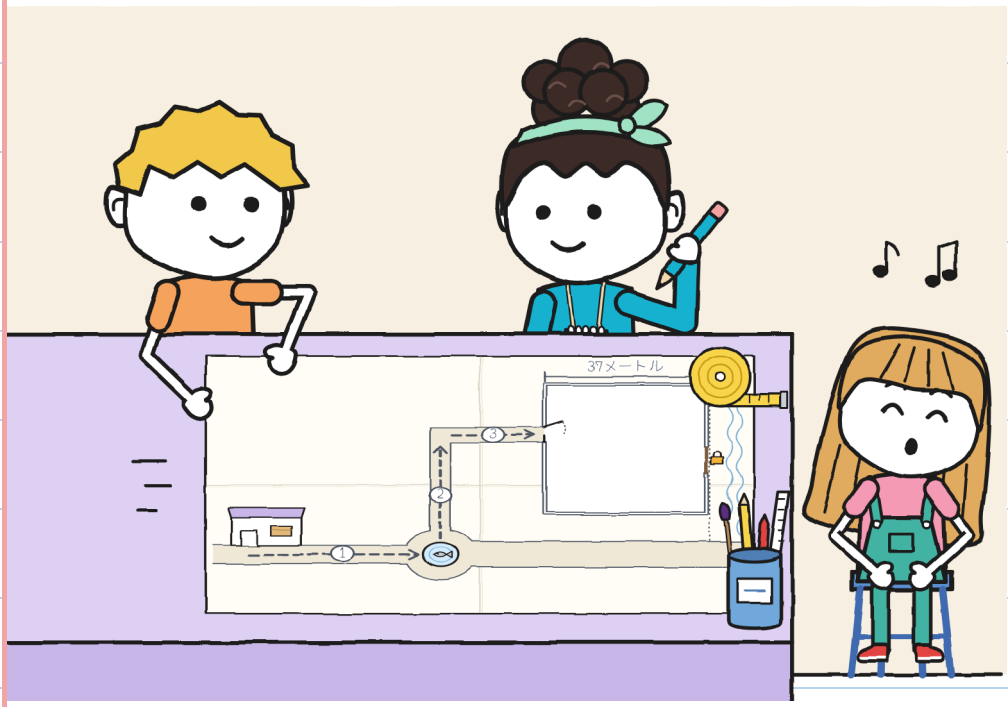
おそいけど はいる。 -E.

ちずを カウンターに おいた。

「きみの ぶんが たりない」

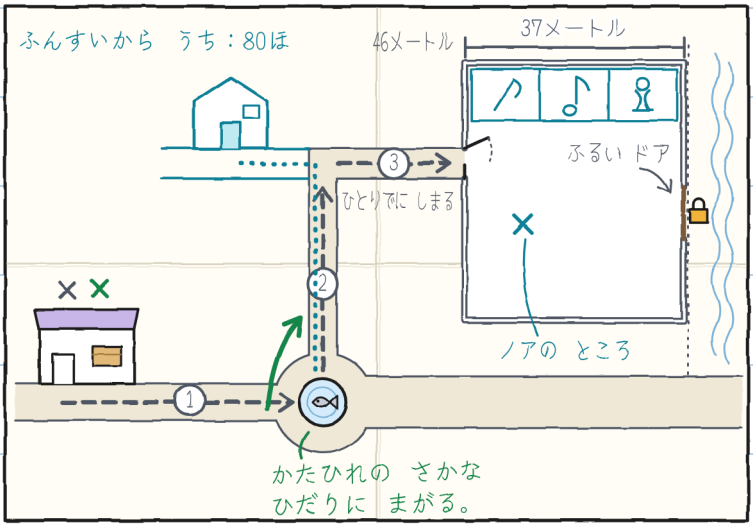
と ノアに いった。

「かいて いい？」と ノアが きいた。



ノアは じぶんの みちと ほすうを
かいた。ぼくは メートルを かいた。

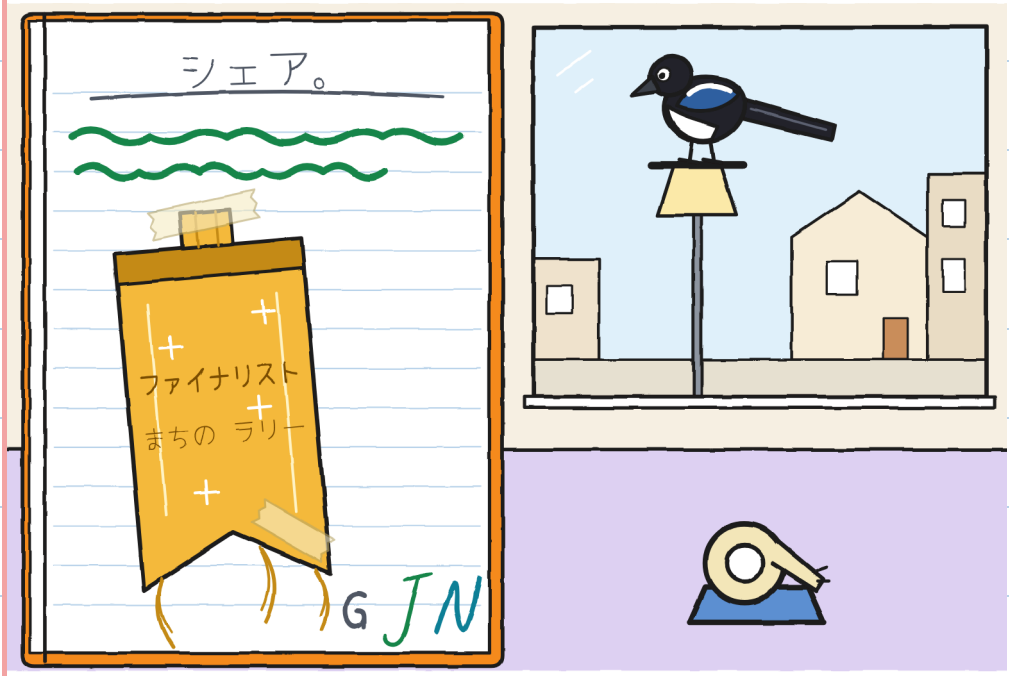
3ひとの ちず



かたひれの さかなの はなしを
きいた。もう しっている。

すごく いい はなし。わたしたちが
へたに はなした。 —J.

フリータは リボンを てくびに
つけて いた。いとが ほどけて いた。
「シェア」の したに はった。

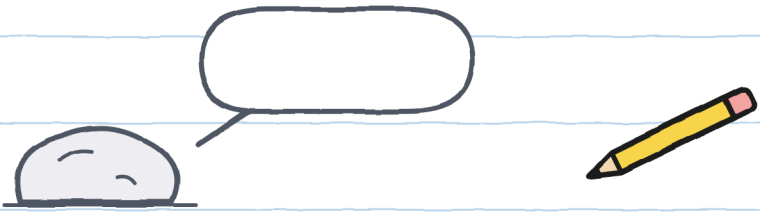


わたしの ノートは とじにくい。 —J.

ノアが よんだ：「とびらは
いしでも おさえられる」
「いしは『ふちいし』とは いわない」
ぼうせんは きさなかった。

ぼくぬきで きまった：||||
ふたりぬきで きまった：|

いしが おさえる



きさないで。わたしの でも ある。 —J.

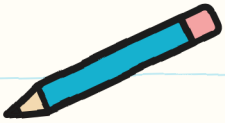
にちようびの あさ、ノアが みはった。

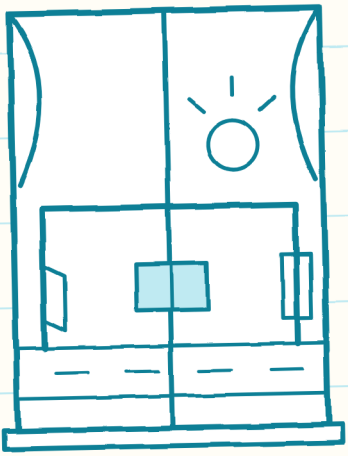
9じに メモを もって きた。

7:38：ミニぶたいは たたんで ある。

7:44：よが あける。うごかない。

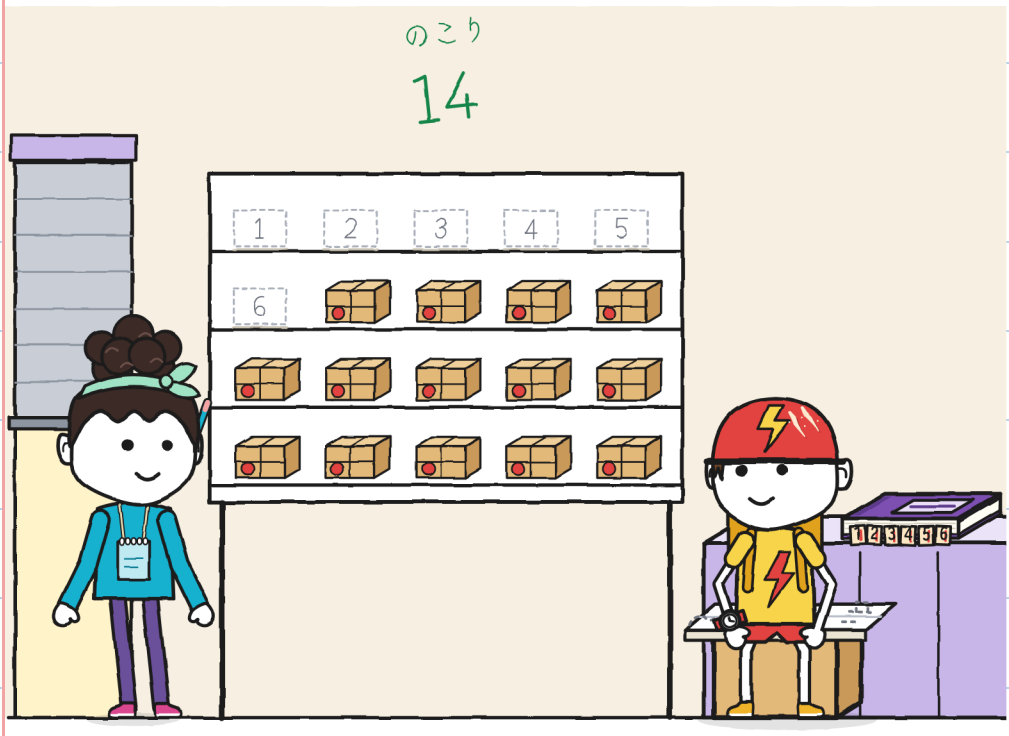
7:50：そのまま。0ほ。



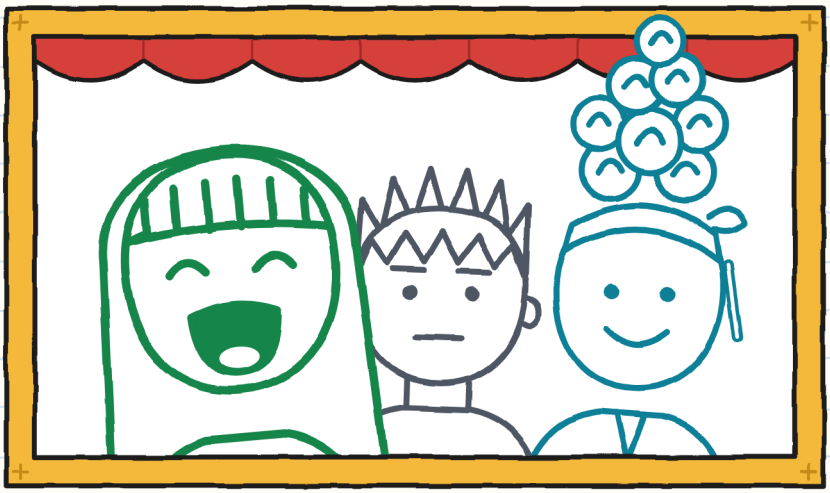


みはりも かぞえるのも じょうず。 —J.

マラさんは シャッターを
すこし あげた。たなを かいた：
にもつ 14こ、あき 6つ。
ノアは ドアの そばに いた。



さいごに、ミニぶたいの
まどを からっぽで かいた。
みんな なかに じぶんを
かいた。じぶんの いろで。



みんな はいる

シェアは シェア。 —J.

くかんごとに：

くかん		だれが はこんだ	だれが あんない	なにが あった やりなおし
	みせ → かたひれの さかなの ふんすい	グニと ノア	フリータ	まがる ところ （3かい）
	ふんすい → かど	フリータ と ノア	グニ	なし （でも ゆっくり）
	かど → なかにわ	グニ と フリータ	ノア	いりぐち： ちずが ふるかった
	どようび	3ひとで	3ひとで、 こうたいで	ベルト （3つめの あな）
	ぼくたちの まえ	マラさん ひとり	だれも	9かい はこんだ
	R.	?	?	わからない

	もつ 	あんない 	みちあけ 	しらせ 
1	グニと ノア	フリータ	フリータ	フリータ
2	フリータと ノア	グニ	グニ	グニ
3	グニと フリータ	ノア	ノア	ノア

ぜんぶ うまった。 ーJ.

ありえない はいたつ ・ 7

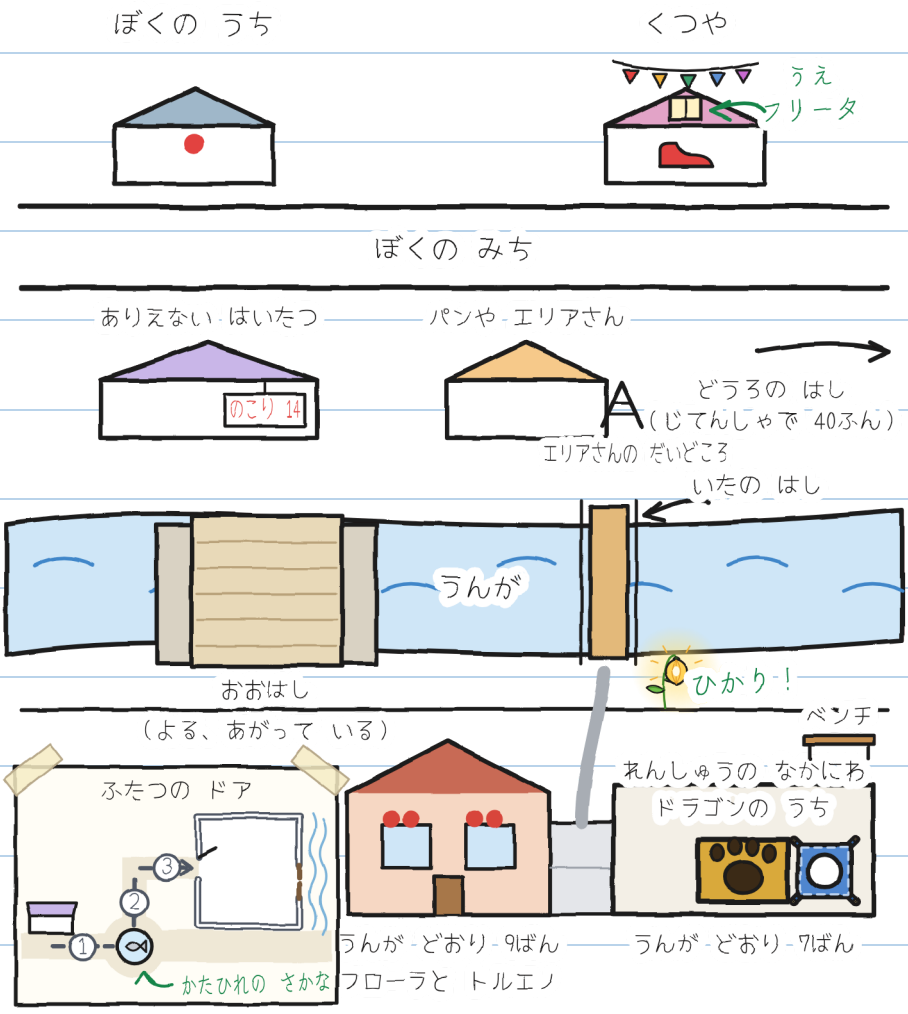
（もうすぐ）



その じかん、ぼくは もう パジャマ。

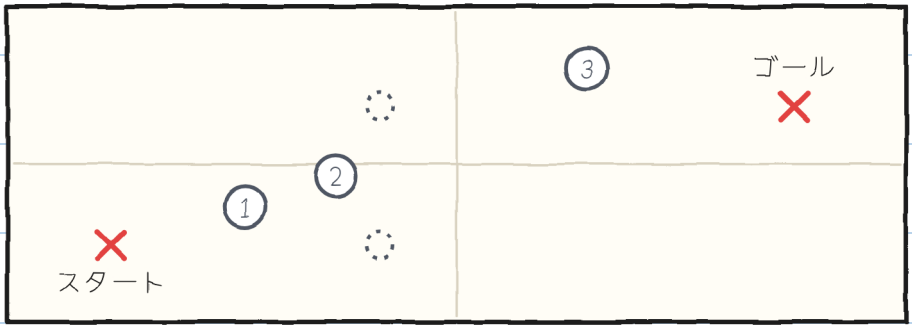
わたしの ほかに、だれが おきてる？ —J.

まち（6ばんの ばん）


ぼくの うち
くつや
うえ
フリータ
ぼくの みち
ありえない はいたつ
のこり 14
パンや エリアさん
どうろの はし
（じてんしゃで 40ふん）
エリアさんの だいどころ
いたの はし
うんが
おおはし
（よる、あがって いる）
ひかり！
ベンチ
れんしゅうの なかにわ
ドラゴンの うち
ふたつの ドア
3
2
1
かたひれの さかな
うんが どおり 9ばん
フローラと トルエノ
うんが どおり 7ばん

きみの みち

だれが はこぶ？ だれが あんない？



3にんメーター

	もつ	あんない	みちあけ	しらせ
くかん 1				
くかん 2				
くかん 3				

おなじ なまえは かえる。 —J.

ひとつの おはなし、6つの サイズ

六つの サイズが ある。3さいから
16さいまで。ことばは 20いじょう。

サイズ XXS · PRE-A1
グニは ひとつ ことばを かいて、ばしょを あけた。「シェア」って ことば、みえる？

サイズ XS · A1
ぼくは ことばを ひとつだけ かいた。ページの はんぶんは あけて おいた。1ぷんも あいて いなかった。

サイズ S · A2
1ページ目に、ことばを ひとつ 書いた。ページの はんぶんは、ねんのため あけて おいた。1分も あいて いなかった。

サイズ M · B1
1ページ目に、ことばを一つだけ書いた。ページの半分は、念のためあけておいた。あいていたのは、1分もなかった。

サイズ L · B2
1ページ目に、ことばを一つだけ書いて、ページの半分は念のためあけておいた。あいていたのは、1分もなかった。

サイズ XL · B2-C1
イラスト小説 · 13+
CEFRのレベルは目安です。

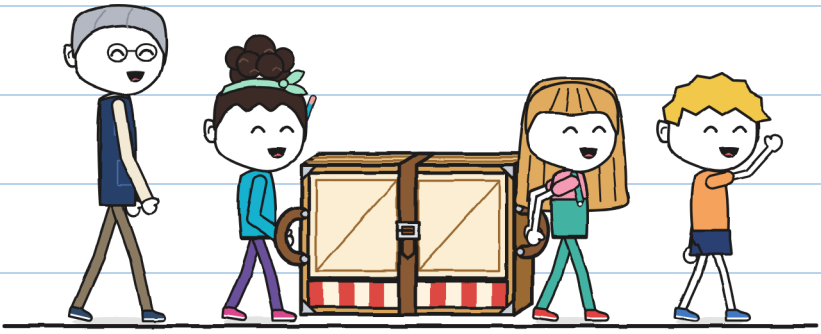
それぞれの サイズで。 —J.

かぞくと せんせいへ
linguaula.comで しょうごとに れんしゅう

ほんとうに はこぶ とき：どうする

1. でる まえに、みち ぜんぶを みる。
2. ひとりは てが あいて いる：ドアを あけて、しらせる。
3. ては とって。ちょうつがいと ロックから はなす。
4. にもつを もったら はしらない、きょうそうしない。
5. だれかが「とまれ」と いったら、みんな とまる。
6. まず ゆかに おく。そのあと はなす。
7. おおきい ものは 2ひとで あけて たたむ。おとなと いっしょに。

「おはなしの なかだけ」の はんこは、ほんとうじゃない ことの しるし。



しって いたら、さきに いって。 —J.